

新居昭乃歌詞分析レポート

nao

【はじめに】

新居昭乃はどんなものに関心があるのか？ どのように世界を見ているのか？

そんなことを、歌詞の頻出ワードを通して分析しようと試みるレポートを作ってみました。

分析対象は、旧 Viridian House ディスコグラフィに掲載されている新居昭乃名義のシングル・アルバム(<http://www.jvcmusic.co.jp/akino/disco/index2.html>)より、作詞新居昭乃の曲と『Lost Area』です。『少年の羽』『金色の時 流れて』を含めた全部で112曲です。

取るデータは歌詞カードを基準とし、実際は歌っていなくても歌詞カードに載っていればデータに換算しました。但し『Lost Area』は歌基準です。歌のタイトルは除外していません。「※repeat」表記のものは省略せずに換算しています。

「空」と「空気」等意味合いが違ふと思われるものは分けて集計してありますが、「思慮」と「思う」、「飛ぶ」と「飛行機」と「Fly」等同じ意味だと判断したものはまとめてあります。そのため集計者の判断に依存した集計結果となっています。ご了承ください。

目次

【はじめに】

【頻出度ランキング】

頻出名詞ランキング

50回以上出現したワードグラフ

【カテゴリー別頻出度ランキング】

【歌詞の特徴】

人物

自然

婉曲表現

内向き且つ前向き

慈愛博愛主義

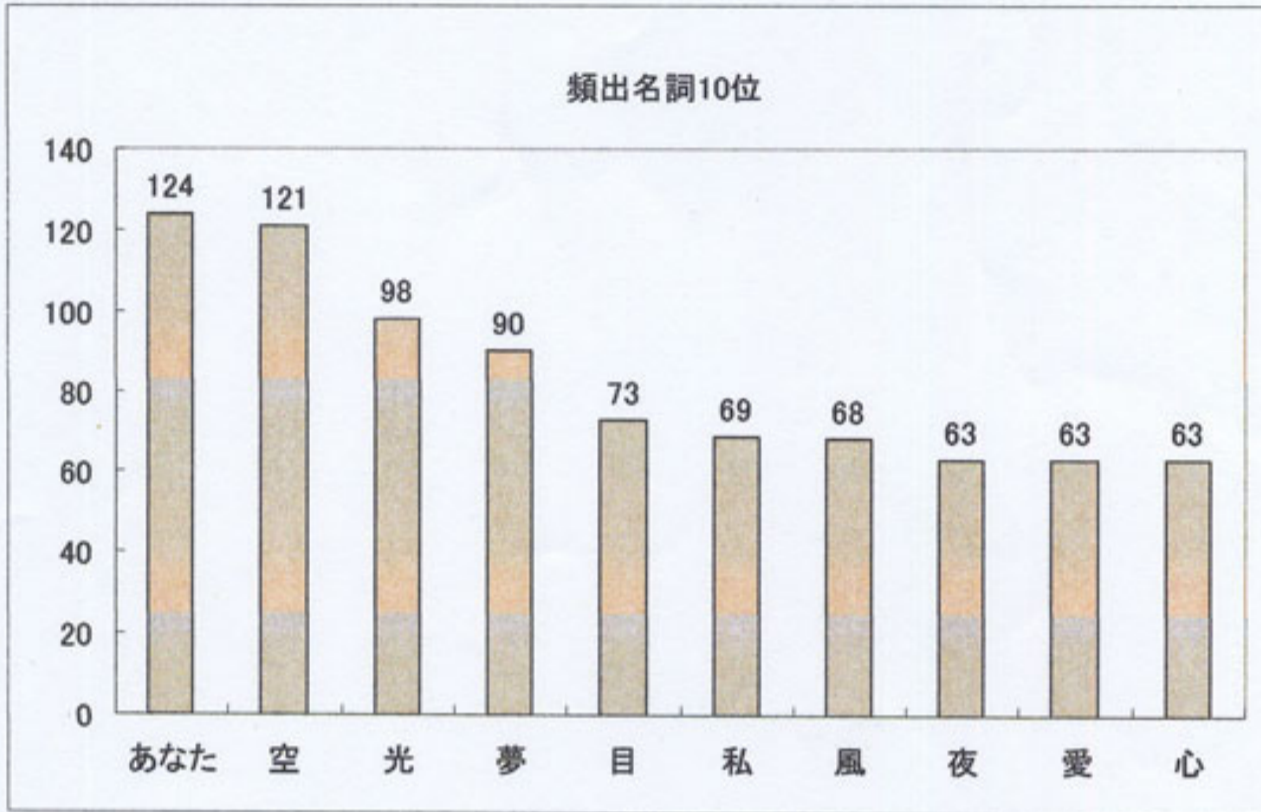
【頻出ワードカテゴリー化分析】

【おわりに】

【引用】

【頻出度ランキング】

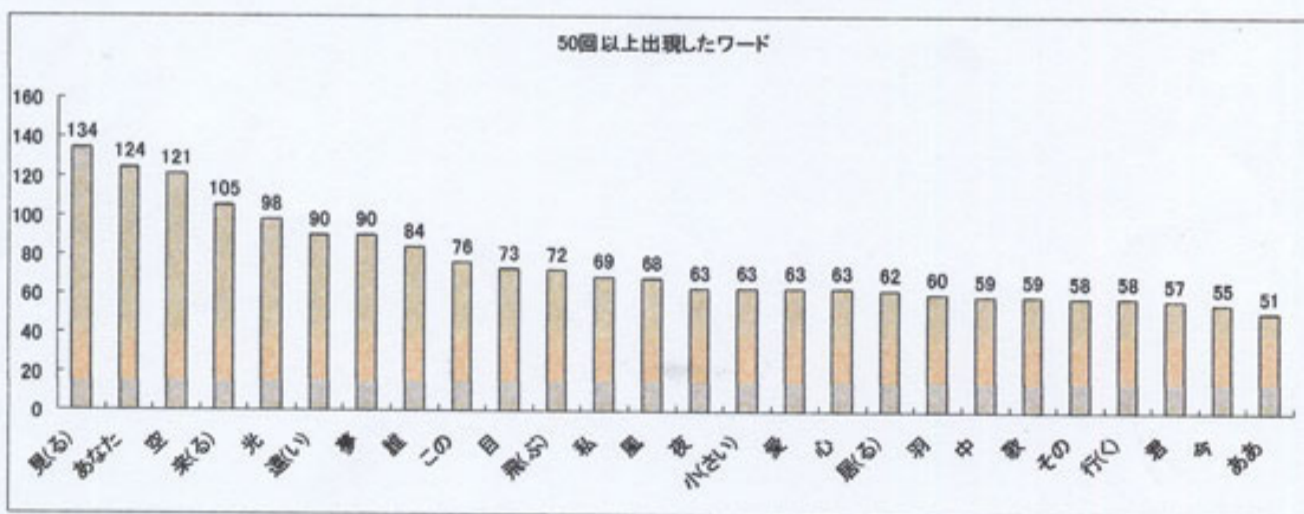
昭乃さんの歌詞にはなんのワードが一番多く出てくるでしょう？
まずは頻出名詞ベストテン。



昭乃さんお馴染みの言葉たちですね。「あなた」と「空」がわけても頻出です。昭乃さんは空が大好きです。

「空」「光」「風」と、自然に関する言葉がかなり多いです。

50回以上出現したワードは26個。そのまとめがこちらです。



ワード「見る」が一番です。「見つめ」たり「見上げ」たり「見送」ったり……。視覚に訴える歌詞が多いようです。

しかしこの集計結果では意味の同じ言葉をまとめてあるので「あなた」と「君」もまと

めるべきかもしれません。その場合「you」や「tu」も合わせて228回と断トツになります。ちなみに「私」等一人称をまとめると117回とこれもかなり多いです。

注目すべきは「空」「遠い」「飛ぶ」「羽」「行く」「今」など、遠くを思う前向きな言葉が多いこと。前向きなことは昭乃さんのひとつの大きな特徴です。これについては後述します。

【カテゴリー別ランキング】

からだ

一位 目(73) 二位 手(47) 三位 胸(45)

色

一位 青(45) 二位 白(25) 三位 金(17)

動物

一位 鳥(49) 二位 貝(11) 三位 魚(3)

宇宙

一位 空(121) 二位 光(98) 三位 星(42)

自然

一位 空(121) 二位 光(98) 三位 風(68) 四位 花(44) 五位 雨(43)
六位 星(42) 七位 海(39) 八位 森(31) 九位 月(30) 十位 雲(29)

【歌詞の特徴】

・人物

名詞ランキング1位のとおり「あなた(124)」が主役の歌が多いです。「私(69)」も多く登場しますが、『Aquarium on the Moon』のような二人称詩又は『鉱石ラジオ』のように一人称詩であっても「あなた」しか出てこない詩もかなりの割合を占めています。これは俯瞰視点の曲、更に言うなら「あなた」を上から眼差す視線の曲が多いこととも関連がありそうです。

三人称代名詞は『New World』で出てくる「彼」の一語です。しかも一度きり。しかし「人(41)」「子供(30)」「友達(7)」等、代名詞を使わない三人称は多いです。「誰(81)」という言葉も多く、特定の人物を想定しません。これらは先の俯瞰視点から説明できます。後述しますとおり曖昧な表現を好むこととも関連があると考えられます。

性別を分けることはほぼありません。アニメタイアップや元ネタがある場合でも、登場キャラクターの性別を明示しません。「あなた」であれば事足りるようです。

・自然

頻出ベストテンに「空(121)」「光(98)」「風(68)」と3つもランクインしていることからわかるように自然に関する言葉がかなり多いです。全部で69語、876回も出てきます。10回以上出てくる単語は22語もあります。音に関する言葉もそれなりに多いのですが、これが32語352回ということと比べると自然に対する興味の底が窺い知れるでしょう。

天気に関しては雨がかなり頻繁に登場します。

具体的には雨(43)>虹(16)>雪(13)>霧(4)>晴れ(3)>曇り(2)=霽(2)=雷(2)の順です。

概ね予想通りかと思われます。

植物の名前は種類様々ですが、とりわけ薔薇が12回も出てくるのが特徴的です。

「風(68)」と「羽(60)」が同じくらいで、「吹く(20)」は風の関連語ゆえに多いようです。

・婉曲表現

昭乃さんは極力感情を直接表現しようとしません。「喜(4)」「怒(0)」「哀(17)」「楽(2)」は合わせても112曲中たったの23回です。他の感情を示す単語も16語137回と比較的少なめです。

その代わり比喩や「君を呼び続けた それが何かも忘れて」(HAYABUSA)等の婉曲的表現が多彩です。

それに伴ってかはわかりませんが、明確さを意味する表現を避け、曖昧で遠まわしな表現を好むようです。例えば戦争の歌をよく歌うものの「戦争」という単語が一度も出てこないことが挙げられます。

・内向き且つ前向き

昭乃さんの最大の特徴と言えるキーワードは「内向き且つ前向き」でしょう。「深い(29)」「中(59)」「落ちる(11)」「奥(17)」等、内にこもるイメージの言葉が多いです。しかし鬱な調子にはなりません。何故かという、けして後ろ向きにならないからです。「今(55)」「未来(21)」に比べて「過去」は4回しかないことがそれをよく表しています。代わりに前向きな言葉が多く散りばめられています。「上(40)」「浮かぶ(13)」「羽(60)」のたぐいです。

特に昔の昭乃さんには内向きのイメージが強いかと思われませんが、これには「冷たいイメージの言葉(433)」も一役買っています。「色についての言葉(170)」のうち約70%が寒色系で占められていることも考慮できるでしょう。「青(45)」が断トツで登場するのですが、これは「空(121)」「水(27)」の影響です。

内向き且つ前向きを示す証拠としてわかりやすいのは、「夜(49)」と「朝+夜明け(50)」がほぼ同数であることでしょう。昭乃さんは夜の暗くひっそりした世界にも朝の明るい世

界にも関心があるようです。

そしてそれゆえに「扉(16)」「窓(22)」「壁(4)」が多いのだらうと推測できます。これらは内向きの特性も前向きの特性も備えているからです。扉を開けて外の世界へ出ることも閉めて閉じこもることも可能ということなのです。

この特徴を踏まえると、「沈んでく光」「空へ平らな地面から飛び込もう」(一切へ)の意味も少しわかってくるのではないのでしょうか。

そしてこの特徴を端的に示す代表的な歌は『Monday,Tuesday』でしょう。

「遠く 遠くへ 心飛ばそう」「深く 深くへ 沈んで行く」(Monday,Tuesday)

・慈愛博愛主義

博愛主義。これは恋より愛が圧倒的に多いことから推察できます。「恋/好き」の12回に対し、「愛/いとしい」は63回も登場します。この差は歴然でしょう。昭乃さんは溢れ出る愛を世界すべてに注いでいます。

「愛してるの 私の目に映る 今すべて」(虹色の惑星)

「私いつか この手のひらで あなたのこと すべてから守りたい」(月の家)

「すべて(33)」を愛し、「すべて」で包み込み、「すべて」から守る。全体感を表す「世界(45)」「大気(4)」なんかがよく出てくるのもこのためでしょう。

そんな昭乃さんからは小さいものへの慈愛を強く感じます。『仔猫の心臓』『人間の子供』『スプートニク』……。モチーフを感じる曲を挙げれば切りがありません。「子供(30)」「命(10)」「淡い(6)」「そっと(36)」等「小さくか細いもの」をまとめると全部で307回出現します。そしてそれを包み込む「愛(63)」「柔らかい(14)」「与える(17)」「抱く(26)」等慈しみの言葉をまとめると225回になります。

更に「水(27)」や水に関する「海(39)」「雨(43)」「泳ぐ(15)」という言葉が271回も出てきます。何故こんなに多いのかというと、昭乃さんが水の一側面を仁愛の象徴として捉えているからです。

「いけない子供だった私の髪にも 金の雨が降るの」(ばらの茂み)

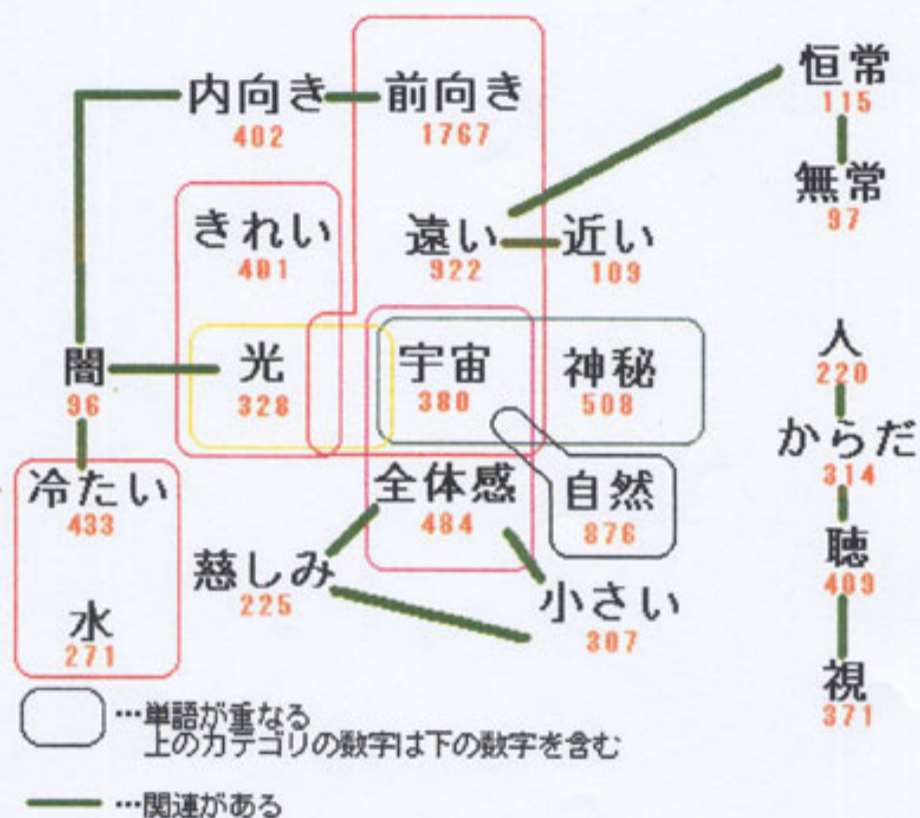
「最初は あたたかい水の中で 歌うような鼓動を聞いた」(星の雨)

降り注ぐ、或いは受け入れてくれる水はすべてに仁愛と祝福を捧げています。そして「降る(29)」という言葉が多いのは、雨と雪とプラチナに関連するからです。この言葉も慈愛の種類と解釈できます。

このような慈愛博愛主義は、昭乃さんの根底を流れる精神と言えるでしょう。

【頻出ワードカテゴリー化分析】

頻出ワードをそれぞれカテゴリーに分けてみると、昭乃さんの関心事が浮かび上がってきます。



昭乃さんが宇宙に興味を持つのは周知の事実です。では何故興味を持つのかは、この図を見れば一目瞭然でしょう。「前向き」「内向き」「遠い」「光」「闇」「神秘」「全体感」「自然」……。宇宙は昭乃さんの関心事のほとんどを満たすのです。宇宙は遠い所に思いを馳せる前向きの要素も孤独や暗闇を想起させる内向きの要素も兼ね備えています。『花のかたち』のモチーフ等を考えると宇宙を「小さい」と見ることもあるようです。空を好むのも、「遠い」「大きい(包み込む)」「前向き」だからと言えそうです。

そして「内向き」や「闇」「冷たい」等のマイナスイメージの言葉よりも、「前向き」「光」等プラスイメージの言葉の方が断然多いこともわかります。

又「消える(23)」「変わる(11)」「失う(20)」等の無常観よりも、「永遠(23)」「続く(18)」「まだ(27)」と恒常的な言葉の方がよく出てきます。「永遠」「いつまでも(3)」「ずっと(6)」といった言葉のイメージから、「恒常」は「遠く」と関連が強いと考えられます。「ゆっくり(2)」「おだやか(2)」等の言葉は意外にも少ないですが、全体的に穏やかな印象になるのは実は恒常的な言葉の影響もあるのかもしれませんが。無常観を描く際は「壊れる(15)」「砕ける(4)」等衝撃性の強い言葉も多く登場します。

昭乃さんは「美しい(11)」「すきとおる(12)」「ガラス(8)」等きれいなものを好みます。宝石も23回出現します。歌詞に出てくる色の内「白(25)」が二番目に多かったのもその清廉さによるものでしょう。

「真白なあの月のようにしたいの 汚さないで」(願い事)

「水」が多い理由の一つにはその清さも関係しているのかもしれませんが。

【おわりに】

『ソラノスフィア』がリリースされた時、雑誌等では「新居昭乃はこもっていた殻を破り始めた」と評されていましたが、こうして昭乃さんの歌詞を見てみると前向きなこと自体は昔から変わらないようです。陰のイメージを持つ言葉より陽の言葉のほうが圧倒的に多かったことも個人的に発見でした。『ソラノスフィア』後も内向きな曲を作っていることを考えると、昭乃さんの精神は昔から一貫しているように思えます。しかしながら昔との変化を感じられるのも事実なので、次回もしやるとすれば時系列を考慮して分析したいです。

又頻出ランキング等はお読みの皆様の参考や関心に沿うかと思われませんが、分析・考察部分はかなり独りよがりですので、何かご指摘ご質問ございましたら会場やメール(aono_ruri@yahoo.co.jp)、Twitter(@mimkno)でお気軽にどうぞ。

お読みいただきありがとうございました。

【引用】

『HAYABUSA』新居昭乃、Blue Planet、フライングドッグ、1997.8 歌詞カード p4

『一切へ』新居昭乃、UNKNOWN VISION、フライングドッグ、2013.1 歌詞カード p2

『Monday,Tuesday』新居昭乃、ソラノスフィア、フライングドッグ、2009.4 歌詞カード p5

『虹色の惑星』新居昭乃、懐かしい宇宙、ビクターエンタテインメント、2004.8 歌詞カード p2

『月の家』新居昭乃、RGB、ビクターエンタテインメント、2002.4 歌詞カード p8

『ばらの茂み』新居昭乃、RGB、ビクターエンタテインメント、2002.4 歌詞カード p9

『星の雨』新居昭乃、空の森、ビクターエンタテインメント、1997.8 歌詞カード p9

『願い事』新居昭乃、降るプラチナ、ビクターエンタテインメント、2000.5 歌詞カード p6